様式ID	NTA0KOB900010020

相続等に係る生命保険契約等に基づく年金の雑所得の金額の計算書（本表）

納税地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1　保険契約等に関する事項

年金の支払開始年	①	＿＿＿＿年	年金の残存期間等（別表1により求めた年数）	②	＿＿＿＿年
年金の支払総額（見込額）（別表1により計算した金額）	③	円	年金の支払総額（見込額）に占める保険料又は掛金の総額の割合	④	%

2　所得金額の計算の基礎となる事項

年金の残存期間等に応じた割合（右表により求めた割合）	⑤	%
（③×⑤）	⑥	円
年金の残存期間等に応じた単位数（別表4により計算した単位数）	⑦	単位
１単位当たりの金額（⑥÷⑦）	⑧	円

（表）年金の残存期間等に応じた割合

②の年数	⑤の割合
5年以下	30%
６年以上10年以下	40%
11年以上	100%

3　各年分の雑所得の金額の計算

申告又は更正の請求を行う年分	⑨	年分	年分	年分	年分	年分
（⑨－①＋１）（注1）	⑩					
単位数　（⑩－１）（注2）	⑪	単位	単位	単位	単位	単位
支払年金対応額（⑧×⑪）	⑫	円	円	円	円	円
年金が月払等の場合	⑬					
剰余金等の金額	⑭					
総収入金額（（⑫又は⑬）＋⑭）	⑮					
必要経費の額（（⑫又は⑬）×④）（注3）	⑯					
雑所得の金額（⑮－⑯）	⑰					

（注）1　【⑨の年号が「平成」の場合】
　①の年号が「昭和」のときは、「⑨＋64－①」を書きます。
【⑨の年号が「令和」の場合】
　①の年号が「平成」のときは、「⑨＋31－①」を、「昭和」のときは、「⑨＋94－①」を書きます。
また、「⑨－①＋１」（又は、「⑨＋64－①」、「⑨＋31－①」若しくは「⑨＋94－①」）が、②の年数を超える場合は、②の年数を書きます。

2　「⑩－１」が、②の年数に応じた次の上限を超える場合は、その上限を書きます。

②の年数	上限	②の年数	上限	②の年数	上限
11年から15年	②－2	26年から35年	②－14	56年から80年	26
16年から25年	②－6	36年から55年	②－29	－	－

3　「⑨－①＋１」（又は、「⑨＋64－①」、「⑨＋31－①」若しくは「⑨＋94－①」）が、②の年数を超える場合は、「０」と書きます。また、⑬の金額の記載がある場合には、別紙の書き方を参照してください。

様式ID	NTA0KOB900020020

【別表１】　本表②及び本表③の年数等

		年　数
年金の残存期間	a	年
相続等の時(年金の支払開始日)の年齢に応じた別表２により求めた年数	b	(　　歳) ⇒　　年
保証残存期間	c	年

○　上のａからｃの記載の状況に応じ、下記の表に当てはめて本表②及び③に記載する年数等を求めます。

		本表②に記載する年数	本表③に記載する金額
ａのみ記載がある場合		ａの年数	年金の支払総額（見込額）
ｂのみ記載がある場合		ｂの年数	
ａとｂに記載がある場合		ａとｂのいずれか短い年数	
ｂとｃに記載がある場合		ｂとｃのいずれか長い年数 ※　ただし、ｂとｃの年数が別表３に掲げる組合せに該当するときは、ｂとｃのいずれか短い年数	年金の支払総額（見込額） ※　ただし書に該当するときは、以下の算式で計算した金額
ａ・ｂ・ｃのいずれにも記載がある場合	ｂがａより短いとき		
	ｂがａより長いとき	ａの年数	年金の支払総額（見込額）

〔算式〕

年金の支払総額（見込額）		ｂとｃのいずれか長い年数		ｂとｃのいずれか短い年数		本表③に記載する金額
	÷		×		＝	

（小数点以下切捨て）

【別表２】　ｂの年数

ｂの年齢	ｂの年齢に応じた年数		ｂの年齢	ｂの年齢に応じた年数		ｂの年齢	ｂの年齢に応じた年数	
	男	女		男	女		男	女
36	40	45	51	26	31	66	14	18
37	39	44	52	25	30	67	14	17
38	38	43	53	25	29	68	13	16
39	37	42	54	24	28	69	12	15
40	36	41	55	23	27	70	12	14
41	35	40	56	22	26	71	11	14
42	34	39	57	21	25	72	10	13
43	33	38	58	20	25	73	10	12
44	32	37	59	20	24	74	9	11
45	32	36	60	19	23	75	8	11
46	31	36	61	18	22	76	8	10
47	30	35	62	17	21	77	7	9
48	29	34	63	17	20	78	7	9
49	28	33	64	16	19	79	6	8
50	27	32	65	15	18	80	6	8

【別表３】　ｂとｃの組合せ

ｂとｃのいずれか一方がイの年数で他方がロの年数のとき（イの年数を本表②に記載します。）	
イ	ロ
10 年	11 年
13 年	16 年
14 年	16・17 年
15 年	16～18 年
20 年	26･36～38 年
21 年	26･27･36～39 年
22 年	26～28･36～41 年
23 年	26～30･36～42 年
24 年	26～31･36～44 年
25 年	26～32･36～45 年
26 年	36 年
27 年	36～38 年
28 年	36～40 年
29 年	36～41 年
30 年	36～42 年

【別表４】本表⑦の単位数

○　本表②の年数が 10 年以下の場合

本表②の年数	単位数（本表⑦に記載）	本表②の年数	単位数（本表⑦に記載）
1 年	0	6 年	15
2 年	1	7 年	21
3 年	3	8 年	28
4 年	6	9 年	36
5 年	10	10 年	45

○　本表②の年数が 11 年以上の場合

②の年数		②の年数	【調整年数】		単位数
年	× (	年	−	年	) ＝

【調整年数】

本表②の年数	調整年数	本表②の年数	調整年数
11 年から 15 年	1 年	26 年から 35 年	13 年
16 年から 25 年	5 年	36 年から 55 年	28 年

【別表５】本表⑫の金額（申告又は更正の請求を行う年分ごとに計算します。）

各年の年金支払額		１単位当たりの金額（本表⑧の金額）		単位数（Ａ÷Ｂ）（注）		本表⑫に記載する金額（Ｂ×Ｃ）
Ａ		Ｂ		Ｃ		円

(注) 小数点以下切捨て。
小数点以下の端数が生じないときは、「Ａ÷Ｂ－１」を記載します。